

専門技術者講習・試験がスタート!

内発協が毎年実施する自家用発電設備等を取り扱う技術者資格を取得するための「令和3年度専門技術者講習・試験」が9月1日～2日、大阪会場を皮切りとして、スタートしました。大阪会場に続いて、同じ要領で9月2日～3日に東京会場で開催されました。現在3万人を超える専門技術者資格保有者が実務に精通した技術者として全国で活躍しています。

ビル、事業場、工場等で建築物の防災用電源や保安用電源、常用電源等として幅広い用途で設置される定置式自家発電設備の実務を担う技術者向け「自家用発電設備専門技術者講習・試験」は9月1日～11月17日にかけて、札幌～沖縄まで全国10都市10会場で延べ12回開催される予定。各会場では2日間に行ったり、自家用発電設備に関する「法令」「構造及び性能」「工事の施工方法」等5つの講習を全て受講した後、試験を受験する事になります。

建設工事現場等で仮設電源として広く使用される



自家用発電設備専門技術者講習の会場
(2日、東京・小川町の連合会館)

移動式可搬形発電設備の実務を担う技術者向け「可搬形発電設備専門技術者講習・試験」は9月8日～11月18日にかけて、沖縄を除く、全国9都市9会場で行われ、延べ10回開催される予定。各会場では2日間に行ったり、可搬形発電設備に関する「法令等」「構造及び性能」「設置工事・保全」の3つの講習を全て受講した後、試験を受験する事になります。

いずれも、12月3日開催される予定の「内発協自家用発電設備専門技術者審査委員会」で各試験結果の「合否判定」が審査される見通し。同委員会の判定結果に対する内発協会長の承認を経て、全受験者あてに合否通知が送付されるのと併せて、合格者には資格証が送付される見通し。